



2026年9月1日

各 位

会 社 名 株式会社アンビションDXホールディングス
代表者名 代表取締役社長 清水 剛
(コード：3300 東証グロース)
問合せ先 執行役員兼経営管理部部長 尾関 文宣
電話番号 03-6632-3700

**特別損失の計上並びに「(訂正) 2026年6月期通期連結業績予想と実績値との
差異に関するお知らせ」、「(訂正・数値データ訂正) 2026年6月期 決算短信
〔日本基準〕(連結)」及び「(訂正) 2026年6月期 決算説明資料」の
一部訂正について**

当社は、2026年6月期において新たに特別損失を計上することを決定いたしました。これに伴い、2026年8月13日に公表いたしました「2026年6月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」、「2026年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2026年6月期 決算説明資料」の一部を訂正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上について

当社は、2026年8月13日に「2026年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」(以下「決算短信」といいます。)を開示いたしました。

その後、連結子会社である株式会社DRAFT(ライフライン事業)につきまして、販路拡大に向けた人材採用等の先行投資がかさみ営業損失を計上していることを踏まえ、事業の再構築を図る必要が生じたと判断し、同社の経営体制を一新することを決定いたしました。

これに伴い、新たな経営体制のもとで同社の事業計画を見直した結果、当初想定した収益計画の達成が見込みがたい状況となりましたことから、同社に係るのれんの未償却残高の全額について減損損失238,340千円を特別損失に計上するとともに、同社に係る繰延税金資産の回収可能性を見直し、28,517千円を取り崩すことといたしました。

なお、本件はいずれも非資金取引であり、当連結会計年度のキャッシュ・フローに影響はありません。また、連結の売上高、営業利益及び経常利益に変更はありません。

同社につきましては、新たな経営体制のもと、事業の再構築に取り組んでまいります。なお、本件による当社グループの事業運営への影響は限定的であります。

2. 2027年6月期の連結業績予想について

2027年6月期の連結業績予想（売上高 60,000 百万円、営業利益 5,100 百万円、経常利益 4,200 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 2,600 百万円）に変更はありません。ただし、2026年6月期の実績値が訂正されることに伴い、対前期増減率が変動いたします（親会社株主に帰属する当期純利益：訂正前 12.4%増 → 訂正後 27.1%増）。

3. 「2026年6月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」の訂正について

上記特別損失の計上に伴い、2026年8月13日に公表いたしました「2026年6月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」につきましても、「1. 通期連結業績予想と実績値の差異に関して」の今回実績値（B）のうち親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益並びにこれらの増減額・増減率、並びに「2. 通期連結業績予想と実績値の差異理由」の記載を訂正いたします。訂正箇所を記載した「(訂正)「2026年6月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ」を本日別途開示いたします。

訂正後の今回実績値（B）は、親会社株主に帰属する当期純利益 2,045 百万円（前回発表予想比 増減額△731 百万円、増減率△26.3%）、1株当たり当期純利益 286 円 59 銭であります。なお、売上高、営業利益及び経常利益並びに「3. 配当予想について」の記載に訂正はありません。

4. 「2026年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の訂正について

上記特別損失の計上に伴い、決算短信の一部を訂正いたします。訂正箇所が多岐にわたるため、訂正後の全文を記載した「(訂正・数値データ訂正) 2026年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」を、本日別途開示いたします。

主な訂正内容は、特別損失（減損損失）の計上及び繰延税金資産の取崩しに伴う、親会社株主に帰属する当期純利益、包括利益、のれん、繰延税金資産、利益剰余金、総資産及び純資産等の訂正であります。訂正後の主な数値は、親会社株主に帰属する当期純利益 2,045,532 千円（前期比 13.0%減）、総資産 45,860,691 千円、純資産 9,770,576 千円であります。

なお、連結の売上高（54,131,222 千円）、営業利益（4,124,996 千円）及び経常利益（3,508,440 千円）に訂正はありません。

5. 「2026年6月期 決算説明資料」の訂正について

上記特別損失の計上に伴い、2026年8月13日に公表いたしました「2026年6月期 決算説明資料」につきましても、当期純利益、貸借対照表及び自己資本当期純利益率（ROE）等に関する記載を訂正いたします。訂正後の資料は、本日、当社ウェブサイト（IR 情報）に掲載いたします。

6. 今後の対応について

当連結会計年度において、当社グループは売上高及び営業利益がいずれも過去最高を更新し、主力の賃貸DXプロパティマネジメント事業を中心に堅調に推移しております。今般の特別損失の計上は、子会社の事業再構築に向けた対応によるものであり、当社グループの事業基盤及び財務基盤に与える影響は限定的であります。

当社といたしましては、本件を踏まえ、子会社の事業モニタリング及びグループ管理体制の一層の強化を図るとともに、DXを軸とした成長戦略を着実に推進し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主・投資家の皆様には、決算短信等の訂正によりご迷惑をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

以上